

一般共同研究 VI.

1. テーマ

三遠南信地域間産業連関表を用いた空間経済分析に関する研究

2. 代表者・共同研究者・協力者（および組織）

研究代表者 渋澤 博幸
(豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系・准教授)

共同研究者 宮田 譲
(豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系・教授)

打田 委千弘
(愛知大学 経済学部・教授)

3. 期間

2015年6月から2016年3月まで

4. 目的

本研究では、三遠南信地域を対象として、地域間産業連関表を作成する。同表を用いて、三遠南信地域の産業構造および取引関係を明らかにする。地域間産業連関モデルと空間応用一般均衡モデルを構築し、シミュレーション分析を行う。また、地域間産業連関表の推計および分析方法に関するマニュアルを整備し、越境地域政策を支援する情報を蓄積する。

5. 実績概要

三遠南信（東三河、遠州、南信州）及び周辺地域（他愛知、他静岡、他長野）を対象とした地域間産業連関表の推計とマニュアルの作成をおこなった。当初の計画に加えて、新たに周辺地域を加えた表を作成した。地域間産業連関モデルを分析するためのソフト開発を行った。地域間産業連関モデルの計算方法のマニュアルの作成を行った。生産誘発係数の特徴や交易係数変化の影響などを分析し、三遠南信及び周辺地域の産業構造や交易関係の特徴を明らかにした。三遠南信道路や産業クラスター形成のシナリオに基づいて、経済波及効果を計測した。研究成果について、日本地域学会、日本環境共生学会、越境地域政策フォーラムにて発表した。

6. 今後の展開

三遠南信及び周辺地域を対象とした市町村間産業連関表を推計し、市町村レベルの経済効果の計測を行う。GISの空間データと産業連関モデルを連携するシステムの開発を行う。今後の課題として、空間応用一般均衡モデルへの応用を検討する。

7. 研究内容

- ・三遠南信及び周辺地域の地域間産業連関表の推計とマニュアルの作成
- ・中部圏地域間産業連関表を用いて地域間産業連関表を推計するとともに、簡便な推計方法のマニュアルを作成した。
- ・地域間産業連関モデルの構築
- ・地域間及び多地域産業連関モデルを分析するためのシステムを開発した。
- ・地域間産業連関モデルの計算方法のマニュアルの作成
- ・地域間と多地域産業連関モデルについて、2地域2部門程度の数値例を用いてExcelによる計算手順を解説した。
- ・地域間産業連関モデルによる分析
- ・生産誘発係数、交易係数変化の影響、前方連関・後方連関効果等の計測を行い、三遠南信及び周辺地域の産業構造や地域間交易関係の特徴を明らかにした。
- ・シナリオに基づく経済効果の計測
- ・三遠南信道路や産業クラスター形成等のシナリオに基づいて、経済波及効果を数量的に計測し、その結果をグラフに示した。

8. その他実績

日本環境共生学会学術大会第18回(2015年度)学術大会発表論文集、越境地域の産業構造とクラスター形成の評価：地域間産業連関アプローチ、高橋楓路、渋澤博幸、宮田譲、平成27年9月26-27日、越境地域の産業構造の解析手法とクラスター形成の経済効果を分析している。

日本地域学会第52回年次大会学術発表論文集、三遠南信地域を対象とした多地域産業連関分析の応用、高橋楓路、渋澤博幸、宮田譲、打田委千弘、平成27

年 10 月 10-12 日、三遠南信地域を対象として多地域産業連関分析を行い、三遠南信道がもたらす経済効果を分析している。

一般共同研究 VII.

1. テーマ

人口減少時代のコンパクト都市圏における越境的サブセンターの地理学的研究
(岐阜市を中心とした周辺圏域)

2. 代表者・共同研究者・協力者（および組織）

研究代表者 久保 倫子（岐阜大学 教育学部・助教）
共同研究者 阿部 亮吾（愛知教育大学 教育学部・准教授）
林 琢也（岐阜大学 地域科学部・准教授）
田中 健作（豊田工業高校 専門学校・講師）
協力者 近藤 暁夫

3. 期間

2015 年 6 月から 2016 年 3 月まで

4. 目的

本研究は、コンパクト都市圏内でサブセンターとなりうる特定の中核都市に焦点を当て、その周辺圏域（サブセンター圏）の特徴と機能を明らかにすることを目的とする。具体的には、岐阜市を中心とした（愛知・岐阜・三重県境にまたがる）サブセンター圏の空間構造を多様な側面から実態調査し、名古屋圏がコンパクトに空間的縮小する人口減少時代において、岐阜市が果たす越境的サブセンターとしての機能を明らかにする。

5. 実績概要

8 月 31 日、岐阜市と周辺地域を回り調査対象地域の概要を理解した後、岐阜大学サテライトキャンパスにおいて第一回研究打ち合わせを実施した。11 月 27～30 日に合宿形式で集中的に現地調査を実施し、合宿後には必要に応じて各自補足調査を実施した。合宿では、

- 1) 郊外住宅地の居住・交通・買物環境の実態を明らかにするため、岐阜市郊外の加野団地での聞き取り調査を行い、合宿後に地区の全住民を対象にしたアンケートを配布した（久保・田中）。
- 2) 商業機能についての現地調査を実施した（近藤）。